

船舶事故等調査報告書

平成21年6月25日

運輸安全委員会(海事専門部会)議決

事故等番号	2008横第127号	
事故等名	貨物船第十一 八幡丸乗揚	
発生年月日時刻	平成20年7月5日14時00分ごろ	
発生場所	千葉県市川港	
事故等調査の経過	調査の概要:平成20年12月15日横浜・地方事故調査官が海難報告書を入力、平成21年3月11日船舶所有者から損傷等の回答を入力 原因関係者からの意見聴取:意見なし	
事実情報	船種・船名・総トン数 貨物船 第十一 八幡丸 499トン 船舶番号(IMO 番号) 136124 船舶所有者等 東海商船株式会社	
乗組員等に関する情報	船長 四級海技士(航海)	
負傷者	なし	
損傷	推進器4翼に7箇所の欠損	
事故等の経過	本船は、鋼材1,405.930tを積載し、喫水船首約3.4m、船尾約4.5mで、水深約5mの市川港の岸壁に着岸操船中、平成20年7月5日14時00分ごろ、船尾船底に衝撃があった。 当時の天気は晴れで、風速約2.8m/sの西風が吹き、潮候は上げ潮の初期であった。	
分析	気象・海象の関与 乗組員等の関与 船体・機関等の関与 判明した事項の解析	なし なし なし 本船は、着岸操船中、海上は平穏であり、喫水に比べて水深もあったことから、推進器が、不測の沈殿物に接触した可能性があると考えられる。
原因	本事故は、本船が着岸操船中、推進器が不測の沈殿物に接触したため、発生した可能性があると考えられる。	
その他の事項	なし	